

ふりがな	卒業年・卒業学科
会員名	

※下記に変更のある方は住所・電話番号・メールアドレス等をご記入ください。

住所	[新]
(変更あり・なし)	[旧]
電話番号(変更あり・なし)	メールアドレス(変更あり・なし)
勤務先	
近況 または 同窓会・同窓会誌『みずわか』へのご意見	

お知らせ

平成23年4月1日以降の入会から入会金が4,000→10,000円、終身会費が20,000→40,000円に変更になります。また、同窓会誌『みずわか』は次号から非会員への送付停止が検討されています。未入会の方へはこの機会に入会をお勧めします。

OB伝言板へのご参加について

同窓会誌『みずわか』では、会員皆様の情報発信や近況報告の場としての誌面の活用を進めて参ります。次年度、「OB伝言板」にご参加いただける方は、ぜひとも情報をお寄せください。(本誌5ページをご参照ください)

愛知工業大学同窓会支部結成のために必要とされる手続き

1. 支部結成発起人(氏名、卒業年、学科)
 2. 支部同窓生氏名(氏名、卒業年、連絡先等)
 3. 支部則原案(見本を作成していますので、参考にしてください)
 4. 支部本部となる連絡場所・連絡先、住所、電話番号記入
 5. 正式に支部として承認されましたら、支部則に基づき支部長、副支部長、会計その他の役員を本部に届ける
- ※職場支部結成については、10名以上の同窓生が在籍していること

会員の皆様へ

ご住所や勤務先などの変更等がありましたらお知らせください。また、地域での同窓会活動の状況など皆様からの情報や、同窓会および同窓会誌『みずわか』に対するご意見も、お待ちしております。
※FAXや郵送でお送りいただく場合は、上記の書式をご利用ください。別の書式やメールでのご連絡も受け付けております。

同窓会・同窓会誌『みずわか』に関するお問い合わせ、申し込み、ご連絡は 愛知工業大学同窓会事務局 まで

郵送

〒470-0392 豊田市八草町八千草1247

TEL

0565-43-1032 (FAX共通) 月～金 9:00～16:30

e-mail

mizuwaka@aitech.ac.jp

※ご登録いただいた個人情報は同窓会に関する案内および大学から依頼された案内の発送のみに使わせていただき、本人の承諾なく第三者に開示することはありません。なお、個人情報の取扱いについては、HPIに明記した瑞若会個人情報保護ポリシーに準じます。

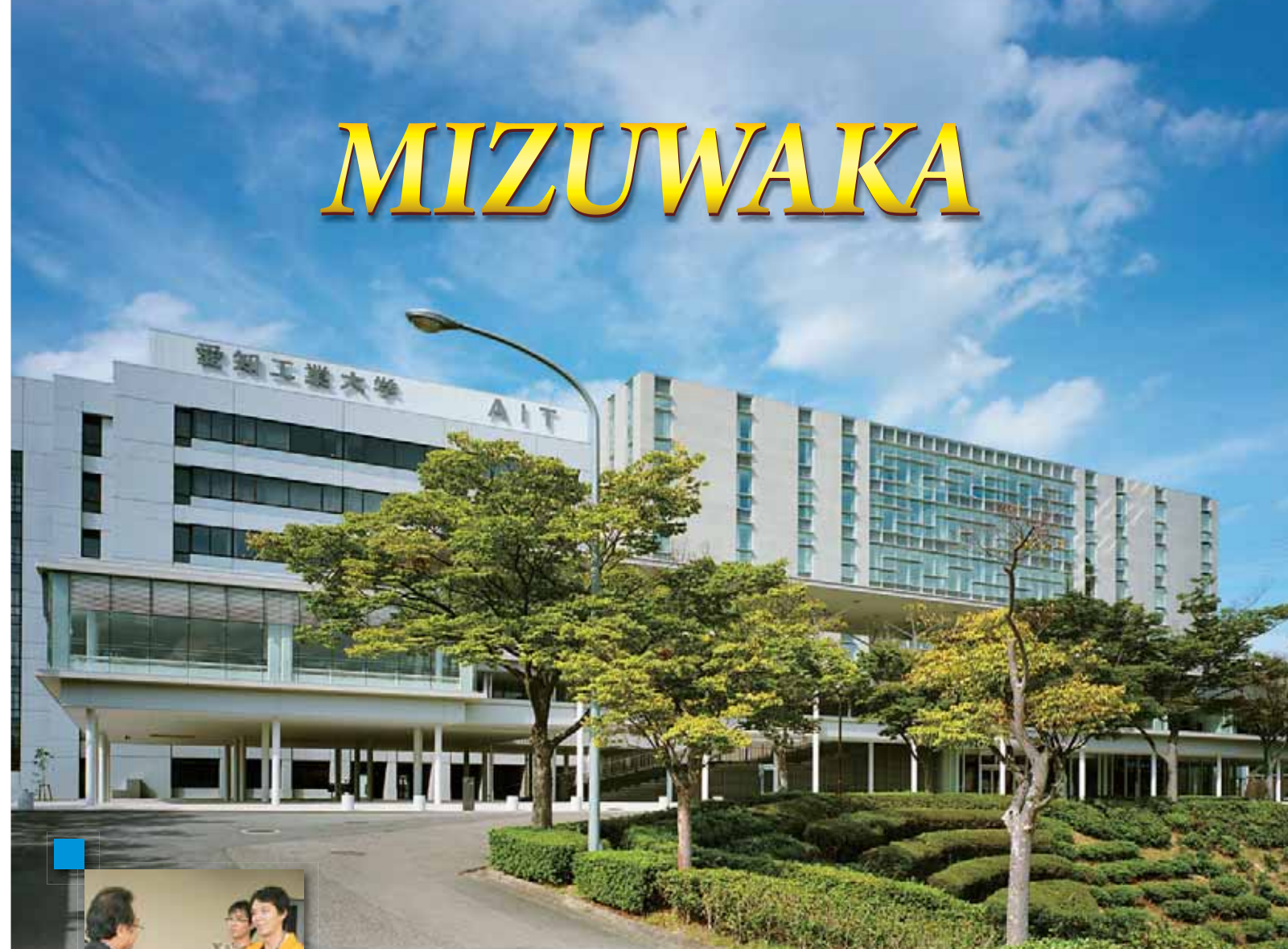
愛知工業大学同窓会誌(瑞若会会報) MIZUWAKA(みずわか)

発行日 2010年12月
編集 MIZUWAKA Vol.43 編集委員会
岩田博之(チーフ)、宇田秀樹、大元司、葛谷新一郎、倉橋有希、高間智美、田近みえ子、立枕孝之、津田紀生、水野勝教、山田千代美(事務局)、横井浩治
発行責任者 伊藤 雅

発行 愛知工業大学同窓会
〒470-0392 豊田市八草町八千草1247 Tel.&Fax.0565-43-1032
印刷 株式会社 大東社
〒494-0003 一宮市三条字大平27 Tel.0586-62-1168 Fax.0586-62-1751
制作 アクア・ビット

http://www.ait.ac.jp/

MIZUWAKA



瑞若会会報 vol.43

contents

- 新しいキャンパス誕生! 同窓生にも披露----- 1・2
- がんばるOB----- 3・4
- OB伝言板・教学インフォメーション・瑞若会 学内企業展--- 5
- 入試・就職インフォメーション----- 6
- キャンパスニュース----- 7・8
- クローズアッププロフェッサー----- 9・10
- PROJECT NEWS「産学連携」----- 11
- AIT オープンフォーラム----- 12
- 事務局便り----- 13・14
- INFORMATION----- 15

新しいキャンパス誕生!

大学創立50周年の記念事業の一環で誕生した、八草キャンパスの新「1号館」と「自由ヶ丘キャンパス」。

八草キャンパスに完成した新「1号館」

2010年秋、八草キャンパスの池を見下ろす場所に7階建ての新「1号館」が完成しました。学生の憩いの場やコミュニケーションの場として活用されるカフェやラウンジ、就職支援のためのキャリアセンターのほか、メディア視聴覚室と呼ばれる大ホール、日本最高水準のメディア環境が整備された情報科学部の工房などが完備しています。



PCやAV機器が完備したメディアラボ(6階)



広々として明るく開放感のある廊下



屋上緑化で環境にも配慮した建物



オープンな雰囲気のカフェラウンジ(1階)



2階へ続く大階段とラウンジ(1階)



メディアセンター(2階)



池や緑と調和した新「1号館」



前方にスクリーンも完備したメディアラボ(7階)



メディア視聴覚室(3階)

同窓生にも披露

大学祭の行われた秋の一日、同窓会によるキャンパス見学会が実施されました。

名古屋市内に開設した「自由ヶ丘キャンパス」

2010年4月に完成した新キャンパスは、地下鉄自由ヶ丘駅から徒歩1分の好立地にあり、周辺の自然環境に調和した建物が印象的。経営学部経営学科の学生が学ぶ場であるとともに、ランチルームやラウンジなど一般に開放しているスペースもあり、地域に開かれたキャンパスになっています。



緑や光と調和した自由ヶ丘キャンパス



緑を眺めながら食事ができるランチルームのデッキ(1階)



吹き抜けの天井が開放的なエントランスとラウンジ(1階)



カフェとしても利用できる、明るい雰囲気のランチルーム(1階)



ラウンジとテラスがある研究室フロア(4階)



専門書から雑誌まで幅広い蔵書の書庫(地下1階)



100人以上が収容できる講義室(2階)



講演などにも使える可動式の講義室(3階)



学生1人にパソコン1台が設置されたPC演習室(3階)



パソコンを完備した、マルチメディア情報センター(1階)

同窓生が新キャンパスを見学

2010年10月9日(土)に、同窓生を対象にした新「1号館」と「自由ヶ丘キャンパス」の見学会が催されました。同窓生の皆さんにもぜひ見学していただきたいという同窓会の働きかけに対して大学の協力を得て実現したもの。ティーパーティ形式での懇親会のあとに、100名ほどの参加者がグループに分かれて、新しい建物や設備、学生によるデモンストレーションなどを見て回りました。



▶見学会を前に

見学会に先立ち同窓生に挨拶する、後藤泰之学長



今回の試みについての説明などをする、道家秀男同窓会会長



1階のラウンジで話を聞く同窓生の皆さん



1階のカフェで行われたなごやかな雰囲気の懇親会

▶新「1号館」見学



メディアラボで説明を聞きながら体験する参加者

スタジオで行われた「モーションキャプチャー」の実演



一緒に参加した子どもも興味津々で体験

▶「自由ヶ丘キャンパス」見学



学生のバンド演奏を聞きながらランチルームでひと休み

前向きに努力し、公私ともに結果を残す

若山 茂氏 37E

平成7年三菱電機(株)退社後、平成19年まで愛知工業大学非常勤講師・インターンシップ支援センターマネージャー。現在は名古屋電気学園評議員。東美会会員。



四年制大学への移行を体験

若山さんは、大学が短期大学から四年制大学に変わる前年に入學。「変革時期で、思い出深いですね。大学への移行にあたって、企業から寄贈してもらった実験用設備の運搬や設置に関わるなど、学生の立場で協力しました」。

高度成長期に就職、多忙な日々を送る

高度成長期という時代にも恵まれ、ほとんど希望者全員が上場企業に就職したと言います。若山さんも希望通りに、実験用設備の寄贈時にお世話になった三菱電機株式会社に就職します。「会社では主に製品の品質保証の仕事に携わり、品質管理の手法などを学ぶことができました。その知識を買われて、愛工大から統計学の講義を頼まれて、勤

めの傍ら教えに来ていました」。

定年後、再び愛工大で学生支援の職に

インターンシップ支援センター設立時に、中心となって尽力することになった若山さん。企業と学生との間に立って、学生を企業へ送り出すのはもちろんのこと、「インターンシップの手引き」を作ったり、マナー講習会を開催したりと、基礎を築きました。

現役を引退後は、趣味の世界へ

愛工大での勤めも終え、今は趣味や健康維持に忙しい日々を送っています。「昔から絵が好きで、定年後に水墨画を始めて作品展などに出品しています」。また、健康維持のため、太極拳とテニスもしているとか。「人生かきくけこ」を心にとめて日々を送っているんですよ。つまり、「か」(感動すること)、「き」(希望をもつこと)、「く」(工夫をすること)、「け」(健康であること)、「こ」(恋心をもつこと)を実践することだそうです。



2010年東美展にて優秀賞を受賞した作品「水汲み」

先輩と語る!

在学生とOBの方が語り合うコーナー。

今回は「インターンシップ」をテーマに、若山さんと体験した学生さんたちにお話をさせていただきました。

若山: 私が学生の頃は、夏休みに企業実習があつて全員が就業体験をしたものですよ。今はインターンシップ制度があるので、ぜひ、活用してほしいですね。

川村: 私は3年の早い時期から就職活動をしたと思っていたので、2年生の冬に行っただけです。

若山: 理想的なパターンですね。まだ、就職活動に余裕がある時期ですし、3年で違う業種を体験したりして、進路を考えることもできますからね。

川村: システムエンジニアに興味があつたので、実際にその方面で体験をしましたが、自分にはもう少し現場よりの仕事が向いているとわかったので、就職先を選ぶときの参考になりました。

森: 自分では漠然と電気工事の仕事がしたいと思っていたのですが、実際に企業に行ってみて、外から目にできない部分も見せてもらったので、仕事のイメージがつかみやすくなりました。



川村 菜見子さん
電子工学専攻4年



森 大輔さん
電気工学専攻4年



丹崎 香奈里さん
情報通信工学専攻4年

丹崎: 私は仕事場の雰囲気や体験したかったのですが、社員の方の社会人としての姿勢や仕事への取り組み方など、大変さも含めて知ることができて良かったです。

森: インターンシップによって、その企業の良さがわかり、第一志望で試験を受けて就職が決まりました。体験中に先輩から就職活動の話聞くことができ、企業訪問や面接もリラックスして臨めました。

若山: 就業体験で自信もつき、会話力も磨かれます。企業側もコミュニケーションがとれているので、同じレベルなら体験者が有利になるでしょう。

丹崎: 私も違う企業での面接時にインターンシップ体験を話すことで、自分をアピールできた気がします。

若山: ほぼ全員が体験して良かったと言いますが、まれに失敗するケースもあるので、学生の皆さんには受け身ではなく、目的をもって行ってほしいですね。企業側も一労働力としてとらえず、様々な部門を体験させたり、社員とふれあう機会を設けていただければ、双方に実りある機会となるはずですよ。

大学院工学研究科博士課程卒
独立行政法人理化学研究所 理研-東海ゴム人間共存ロボット連携センター 研究員

H13R 平野 慎也氏



大学の研究室で再びロボットに会う

人をベットから抱き上げ、車いすにおろす移乗作業を人と協調して行うことができる世界初のロボット「RIBA」。その機構の設計を担当したのが平野さん。工業高校から電子工学科へ進み、4年生で生体工学研究室へ入りました。「高校時代にもロボットを作ったりしていましたが、研究室がロボット研究をメインにしていたことで、再び向き合うことになったんですよ」。

苦労もあつたけど万博はいい思い出

博士課程2年目で愛知万博にロボットを展示することが決まり、研究室をあげて「AIT REBO」を製作。「機械設計、プログラム、基盤設計など、毎日研究室に寝泊まりしてやっていましたね。展示中に不具合が出ると、閉館後に大学へ持ち帰って修理しては、翌朝の開館までに搬入して展示することもありました」と当時を振り返る平野さん。そうした経験はもちろんのこと、大学では機械からソフトウェアまで幅広く学べたのが良かったと言います。

就職して本格的にロボット開発に携わる

「就職して4年目ですが、大学院在学中から今の

研究所へ手伝いに来ていたんです」。学生時代の経験も生かしたいと、独立行政法人理化学研究所の就職試験を受けて採用された平野さんですが、学生時代とは違い、研究員として一人で担当分野の開発を任されています。「RIBA」の開発にあたっては、構造的な問題を解決するために何度も設計図を書き直したとか。「形や大きさ、重さ、強度などを考えて図面を書いていくのですが、約750個の部品すべての設計図を書くのは大変でしたね。3DCADで設計して組み立て、応力解析を行い、足りない部分を修正するという地道な作業の繰り返しです」。今後は、安全性を確認しつつ、2012年の実証実験を目指して改良を重ねていくそうです。



ロボットのアームの具合を見る平野さん

ロボットの開発にやりがいを感じる

日々の研究開発とともに、論文が評価の対象になるという研究所での仕事。「成果を求められますから、特許がとれるような技術を開発していくことも大事なんです。でも、自分の考えを形にできるので、とてもやりがいのある仕事ですね」。研究の仕事はプロジェクト単位で契約しているので、これが終了したあとは次を探す必要もあるとか。「この先もやはり、ロボットの開発や研究に関わっていきたいですね」。



平野さんが働くなごやサイエンスパーク 研究開発センター

先輩に聞きたい!

在学生からOBの方への質問コーナー。今回は「RIBA」に関心のある学生さんからの質問です。



RIBAと平野さん

Q 顔がクマですが、何か理由がありますか?

A 介護施設などで使うときに、恐怖感がなく、親しみやすいように、と思ったんです。デザイナーの方にロボットの機能などを説明して、出てきた案の中から選びました。機能性なども考慮しつつ、2Dのデザイン画を3Dの設計図に書き起こしました。

Q 充電式でも動くのでしょうか?

A 電源コードも付いていますが、もちろん充電式で動きます。今のところ、1時間だけです。

Q 61kgまで持ち上げることができると聞きましたが、なぜ、その重さなのですか?

A 構造的には120kgまで支えられますが、人を抱えて正常に動くことを確認しました。最初に抱き上げられたのは私で、そのときの体重が61kgだったんです。自分がモデルになることで、何が不具合なのかもわかりますし、実際に腕の長さや表面素材などを変更しました。

やりがいのある仕事に出会い、ステップアップ

支部の活動へぜひ、ご参加を!



近畿2府4県の出身者に限らず、転勤等で関西へ来られた方もお気軽にご連絡ください。異業種交流の場としてご利用いただけます。また、新卒の方も同期の仲間と一緒に参加しませんか。お待ちしております。

- 活動場所 / 関西文化サロン
大阪市北区角田町8-47阪急グランドビル19階
TEL.06-6316-1577
- 活動状況 / 奇数月第3土曜日 17時から例会開催
年1回「関西フォーラム」と題してイベントを企画
- お問い合わせ先
【e-mail】rtty_fujita128@ares.eonet.ne.jp (支部長藤田)

関西支部 新支部長
藤田 隆 (52E)

大風揚げを見に来ませんか

もう卒業してずいぶん経ちましたが、現在は電気工事の監督業をしています。趣味で地域のサークル「三州須美風の会」に所属し、16畳の大風を、会の仲間23人で、一年一枚、作成して大風揚げを行っています。今までに、知事賞を受賞した幸田町大風揚げ大会(愛知県)、朝霧高原(富士山の裾野)、越中大門大風揚げ大会(富山県射水市)の3カ所で大風揚げを行いました。2011年1月9日(日)には、幸田町大風揚げ大会があります。みなさん、ぜひ見に来てください。



愛知県
加藤 肇 (55E)

名古屋名物 みそ煮込みうどんは いかが?



名古屋の丸の内にて、みそ煮込みうどんなどを出す店をやっております。創業明治23年の老舗の味を名古屋名物やランチでどうぞお楽しみください。座敷での宴会も承っております。名古屋の中心部へお越しの際はぜひともお寄りください。



麺と和食のみせ 三河屋本店
地下鉄丸の内駅4番出口 徒歩3分
〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内2-13-22
TEL.052-211-4631
【営業時間】11:00~14:45
17:00~22:00
【定休日】土・日曜、祝日
【HP】http://r.gnavi.co.jp/n002100/

名古屋市
伊藤 彰記 (H9R)

教 学 イ ン フ ォ メ ー シ ョ ン

GPA 導入! 成績評価を厳格化

中教審の答申を受け、愛工大では学士課程教育構築の取り組みを行っています。まずは成績評価を厳格化するため、平成22年度からGPAを導入しました。これは学習の質を評価する基準として導入し、全ての履修科目の成績の平均を数値化したものです。国際的に広く通用している手法であるため、進学や奨学生採用の基準に活用することが検討されています。また、学生自らが成績状況を把握し、次の履修計画に役立たせることができる等のメリットがあります。

学生が本気で学び、社会で通用する力を身に付けられるよう、今後も様々な取り組みが予定されています。

瑞若会が 学内企業展を開催!

平成22年5月29日(土)に「瑞若会(同窓会)主催企業展2010」を八草キャンパスのAITプラザ1階で開催しました。出展企業は午前の部(10:00~12:00)と午後の部(13:30~15:30)合わせて61社。のべ390人の学生が訪れ、興味のある企業ブースで担当者から熱心に話を聞く姿が見られました。瑞若会として初めての試みであり、キャリアセンターの全面的なバックアップを得て、成功裏に終了しました。

この企業展は、同窓会会員と準会員である在校生へのサービスの一貫として行われており、同窓生の帰属企業がPRを兼ねて無料で出展できる場を提供し、在学生の同窓会に対する認知度を向上させる機会となるよう開催したものです。人材を求める企業と就職を希望する学生との出会いの場を提供するだけでなく、先輩と後輩の絆を深めるきっかけとなるなどの効果も期待されています。

来年度も引き続き企業展を開催する予定であります。ぜひ、企業展にご参加いただきますようお願い申し上げます。



熱心に話を聞く学生たち

<平成23年度の開催に向けて>

平成23年5月21日(土)または28日(土)の開催を目指して現在、企画立案中です。ご参加を希望される企業様には4月に書面でののご案内を致しますので、事前にキャリアセンターまで電話またはメールにてお問い合わせください。

(お申し込み多数の場合は抽選となります)

お問い合わせ先 | キャリアセンター TEL 0565-48-4655 (直)
e-mail syusyoku@aitech.ac.jp

入 試 イ ン フ ォ メ ー シ ョ ン

■同窓生入試で愛工大へ!

開学50周年の記念事業の一環で始まった同窓生入試は、同窓生のご子息を対象にした入試制度です。ぜひ、ご利用ください。



詳しくは入試課へお問い合わせください

●多彩な入試制度を用意しています!

★早めの合格を目指すなら、AO入試や推薦入試

AO入試 / 1期・2期

推薦入試 / 指定校推薦 1期・2期、スポーツ推薦、資格推薦、女子学生推薦、一般推薦、自己推薦

★今からでも間に合う、一般入試(下記日程)

1月以降の出願で受験できます。

■入試日程

※出願に関して、前期日程A方式、前期日程M方式、後期日程M方式、センター3期は×切日必修(持ち込み可)で、これ以外の入試は×切日当日の消印有効です。

入試区分	入試の名称	出願期間	試験日	実施学部	試験会場	合格発表日
前期日程	一般入試 前期日程 A方式(記述式)	1/7(金)~20(木)※	1/27(木)	全学部	本学、名古屋、岐阜、四日市、津、浜松、静岡、富山	2/10(木)
	一般入試 前期日程 M方式(マークセンス式)		1/28(金)		本学、名古屋、岐阜、四日市、津、浜松、静岡、富山	
	センター試験利用入試 センター1期(3教科利用)	1/7(金)~14(金)	1/29(土)		本学、松本、岡山、福岡	
後期日程	一般入試 後期日程 M方式(マークセンス式)	2/1(火)~23(水)※	3/2(水)	全学部	本学、岐阜、四日市、津、浜松	3/9(水)
	センター試験利用入試 センター2期(2教科利用)					
	センター試験利用入試 センター3期(3教科利用)	2/28(月)~3/10(木)※				

就 職 イ ン フ ォ メ ー シ ョ ン

不況でも高い就職率を誇る!

2010年3月卒業生 就職率 89.7%
工学部 91.2%
経営情報科学部 83.7%

心強いバックアップ!

同窓会組織「瑞若会」はもちろん、大学と保護者との密な連携をとる「愛知工業大学後援会」や中部財界の主要企業約730社、320人以上の個人会員が参加する「愛名会」は、就職活動を支援してくれる頼もしい存在です。

万全の就職サポート! キャリアセンターがお手伝い

入学した直後から、4年間にわたって段階的、継続的に就職支援をしています。

<p>1年次 大学を知る!</p> <p>就職に向けての有意義な学生生活の過ごし方についてのアドバイスや自己発見レポートの作成をします。</p> <p>▲個別相談も行うキャリアセンター</p>	<p>2年次 目標を持つ!</p> <p>自己プロGRESSレポートやインターンシップを通して、自分の興味や強みを明確にして、進路目標を具体化できるようにアドバイス。</p> <p>▲インターンシップで就業体験</p>	<p>3年次 就職活動の準備!</p> <p>秋からの企業へのエントリーに向けて、下記のような様々な支援プログラムを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎就職適性検査 ◎SPI模擬試験 ◎就職対策講座 ◎学内企業展 など <p>人事担当者と面談できる学内企業展</p>	<p>4年次 本格的に就職活動!</p> <p>3年生の春休み頃から本格化する就職活動。いち早く内定を勝ち取るために、面接対策講座や個別の就職相談を行います。</p>
---	--	--	--

キャリアセンターから~同窓生の皆様へ

当センターでは、各専攻の担当教員と連携をとって就職指導・支援を行っています。インターンシップ制度を活用した職場体験も積極的にすすめておりますので、学生受け入れにご協力いただける場合はキャリアセンターまでご連絡ください。

お問い合わせ先 | キャリアセンター TEL 0565-48-4655 (直)
e-mail syusyoku@aitech.ac.jp

また、学内企業展や地元企業交流会も行ってまいります。求人につきましては、WEBによる求人登録システムがありますので、ぜひ、ご利用ください。URL http://www.kyujin-navi.com/uketsuke/

愛工大祭 selection

学生たちが研究成果を競い合う 工科展

2010年10月9日(土)、10日(日)に第50回愛工大祭が行われ、恒例の「工科展」が開催されました。技術の発展や新しい技術を見せる場として、大学祭の主要な企画として継続しているものです。今年には研究室や学生チャレンジプロジェクトの学生を中心に12団体が出展しました。

白熱のプレゼンテーションと審査



学生のプレゼンテーションに耳を傾ける審査員の方々

工科展は展示だけでなく、学生たちの研究成果や技術を競う場もあり、9日の午前中に審査が行われました。審査員は学生委員会の教職員

13名、学友会から学生1名、同窓会から1名の計15名。1団体約10分の審査時間に学生が展示技術のプレゼンテーションを行い、技術面や費用面など審査員からの様々な質問に答える形で進められました。

同窓会からも特別賞を授与

研究内容やプレゼンテーションの仕方などをポイントにした厳正なる審査の結果、優秀賞3団体が選ばれ、そのうち1団体が最優秀賞に決まり、



表彰式では参加団体を前に小嶋副学長が挨拶

ほか1団体には同窓会より瑞若会特別賞が授与されました。小嶋憲三副学長が「今後とも愛工大のノーベル賞だと思って取り組んでほしい」と挨拶。



①②③「～不安定を安定に!!～更なる飛躍を目指して」と題して、倒れない二輪車の展示、研究などを発表した「渡辺研究室」
④実際の機体を展示して、飛行試験の様子を映像で紹介した「人力飛行機同好会」
⑤ソーラーカーレース鈴鹿2010に参戦した状況などを展示した「AITEP」のブース
⑥パネルや実物を展示し、説明する「自動車研究室」の学生
⑦「奥川研究室」の段差を踏破したり、荷物を運んだりするロボットの一つ



挨拶。審査員を代表して山田英介教学センター長からは「プレゼンテーションや内容のレベルが上がり、甲乙つけがたい状況だった」という講評がありました。新技術への学生の取り組みを肌で感じることで「工科展」。来年は同窓生の皆さんもぜひ、お出かけください。



幅広い年代層の方に愛工大祭に来てほしい!

大学祭実行委員会 委員長 田中達也さん(土木工学専攻)

今年の大学祭のテーマは「大冒険」。数ある企画の中で「工科展」は毎年受け継がれている目玉企画の一つです。今年は工科展をサポートする形で、キャンパスのそれぞれの場所で技術や研究を展示する「テクノアドベンチャー」も行いました。ステージや子ども向けの企画なども取り入れていますので、多くの方に訪れてほしいと思います。

エクステンションセンター主催の講座やイベント

社会人や子どもたちを対象に、講座やイベントを開催しています。小・中学生対象の「まるごと体験ワールド」、春と秋に本山キャンパスで開催する講座「オープンカレッジ」、高校生を対象に理科や科学の課題研究の成果を表彰する「AITサイエンス大賞」などを実施しています。詳しくは下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先 エクステンションセンター TEL 0565-48-8121 (代)
URL http://www.aitech.ac.jp/e-center/

エクステンションセンターガイド

夏休みの人気企画 「まるごと体験ワールド」

よく飛ぶ竹とんぼを作る

はやく飛ばしたいなあ

見て! 完成したよ

回転式アニメをつくる

中はこうなってるんだ

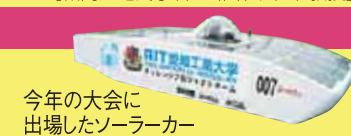
パソコン分解

2010年7月31日(土)・8月1日(日)の2日間、「まるごと体験ワールド」が八草キャンパスで開催され、多くの親子連れの方々などが参加しました。

CLUB REPORT

【顧問/電気学科 雪田和人 准教授】

AITEP (電気工学研究会) ソーラーカーレースを目標に



今年の大会に出場したソーラーカー

AITEP(電気工学研究会)は電気学科1年から3年までの約20名からなるサークルです。主に週2日の活動で、ソーラーカーや発電関係の研究を行っています。近い目標を「ソーラーカーレース鈴鹿2011」に出場することとして、日々話し合いや研究を重ねています。

サークルは、学年、学科問わずとても楽しい雰囲気の中、活動しています。また、メンバーが毎年増えているため、活動の内容もより濃いものとなってきています。

電気系はもちろんですが、電気系以外の知識も実際の体験をもとに身に付けることができ、幅広い分野の経験ができるのが特徴となっています。

まずは、ソーラーカーレースで入賞を目指し頑張っていこうと思います。

(部長 金納朋輝 電気工学専攻3年)



力を合わせて材料を加工

【顧問/応用化学科 小林雄一 教授】

ライフル射撃部 センターを狙って撃つ



第77回大会で優勝した部長 市原成正

現在、3人と少ない部員ですが、大会では常に上位を目指して練習しています。大学には射撃場がないので、全員で練習することが難しいですが、個々が射撃場に向かい日々努力しています。2010年8月6日～8日に行われた第78回中部学生ライフル射撃選手権大会では、部員の一人が優勝しました。今度は部員全員で上位入賞を目指しています。

射撃の試合では暑さと自分自身との戦いです。ほかの選手の点数に意識がいくと集中できなくなってしまうからです。

試合時間は1試合105分(女性は75分)なのでそんなに長くはありません。ライフル射撃は場所と道具と練習時間を確保さえできれば、初心者でも始められる競技ですので、新しい部員が増えることを願っています。(部長 市原成正 経営情報専攻3年)

受賞団体

手前が渡辺研究室、後ろの左から奥川研究室、AITEP、人力飛行機同好会の各代表



最優秀賞 渡辺研究室

「昨年、一昨年と2年続けて優勝したので、少しプレッシャーもありましたが、3連覇達成ができてとてもうれしいです。プレゼンテーションにも十分時間をかけて1週間ほど練習しました。今後さらなる飛躍と進化を目指してがんばります」

優秀賞 人力飛行機同好会

「昨年も2位で、今年こそはとねらっていましたが、残念!でも、一生懸命やってきたことが結果につながることは喜びです」

優秀賞 奥川研究室

「今年、初めて参加しました。まだ、4月に研究室ができたばかりで、短い期間で準備した中で、賞が取れて良かったです」

瑞若会特別賞 AITEP

「自分たちができないことをみらい工房の方たちに手伝ってもらったこと、まわりの支援があつての受賞だと思っています」

実践的な研究や講義に、 公認会計士の経験を生かして

経営学部経営学科
岡崎 一浩 教授

公認会計士として活躍後、愛工大へ

オーストラリアのシドニーに23年間在住し、公認会計士として仕事をするかたわら、10年ほど愛知工業大学の非常勤講師を務めた経験のある岡崎教授。2000年の経営情報科学部（経営学部と情報科学部の前身）開設にともない教授として就任して今日に至っています。

厳しくも実践的な指導が好評

岡崎教授が教える「会計学」「原価計算」「コンピュータ会計」などの科目の中でも、とくに受講生が多いのは「コンピュータ会計」とか。「実際に企業で使われているソフトを使っての実習ですから、社会に出たときにすぐに使えます」。実務が長い岡崎教授ならではの実践的な講義で、昨年度は受講希望者が次第に増えて200人にもなったそうです。

岡崎教授の指導は厳しいことで知られ、課題の提出だけでなく、受講態度が悪い学生は一番前に座らせたり、言うことを聞かなければ即、退室となります。

「まじめに講義を受けてもわからなければ、それは教える側の責任です」。お客がわからなければ意味がないという社会の中での経験から、学生に対しても同じようにきちんと向き合っているとか。その姿勢は教材づくりにも表れていて、90分の講義のために、丸一日がかりでパワーポイントによる教材を作っているそうです。また、社会で有用な資格の受験を進め、厳しい指導のかいもあって、難しいとされる日商簿記2級にも授業だけで毎年3人は合格します。

自身の経験から学生にアドバイス

同時に海外での勤務経験が長い教授は、学生たちにも積極的に海外へ出るようにアドバイスしており、ゼミからは毎年1人、中国へ留学させています。「これ



からは中国との関係が密接になってきます。その国や文化を理解するためにも、友人をつくるように言っています。社会情勢を常に頭に置いての教育指導のもと、学生の就職率は毎年ほぼ100%だとか。「厳しい指導はしますが、結果的には学生もよかったと言ってくれますし、今後も社会で役立つ人材を育てるのが使命です」。



パソコンを使って教材作成

決算書類の不備を取り上げて何億ドルにもなるような損害賠償の訴訟を起こした場合など、決算書の内容のチェックや記載事項の裏付けをとるなど訴訟にからむ会計関連書類の正当性などについて意見書を提出します。極めて高度な分析と確実性を求められる仕事をこなしている教授ですが、結果的に紛争の解決につながる点にやりがいがあると語ります。

学外でも積極的に活動し、監査研究学会で公認会計士がどうあるべきかという倫理のルールづくりに携わったり、別の会では会計データの統計研究をする部会に参加したりと、多忙な日々を送ります。日本で博士号のみならず、日・米の公認会計士資格を持っているのは岡崎教授だけということです。

海外でも評価の高い研究

ここ7、8年の研究テーマは、「訴訟会計論」です。研究だけでなく、実際に求められてアメリカの裁判で意見書を提出するなど事件解決にも貢献しています。「例えば、株主が企業に対して

新たな成果を探りつつ、 画像処理の研究テーマを模索

情報科学部情報科学科
中村 栄治 教授

さまざまな角度から画像処理を研究

画像処理が専門の中村教授。画像が持っている、目で見えてわからない情報をどう引き出すかということが、画像処理研究のテーマです。大学院時代は、医療分野に関わる画像処理を研究していたそうです。その後、DNAの一致を自動認識するための遺伝子画像解析ソフトウェアの開発や、低解像度の画像処理を研究。7、8年前には昆虫の眼の動きから解析するという視覚情報処理のテーマなどにも取り組んでいました。

新たな研究テーマに意欲的に取り組む

現在のテーマは、「画像を使ったナビゲーション」です。GPSの届かないところで、画像処理と慣性情報によって人の動きを正確に判断するためのプログラムの研究です。「画像処理だけでは誤認が生じる可能性があり、物理的な慣性情報を加えることで、より精度があがります」。



研究はパソコンでの解析が中心

もう一つは「顔認識の技術の応用」についての研究を進行中とのことで、「すでに顔認識の分野は技術的



にも進んでいますが、その中でも新しい発見はないか、探しています。言うなれば、金の鉱脈探しのようなものです。自分の研究が新しい一歩となって、世界が広がったと言われたら、うれしいですね」。

応用が効く人材を育てるために

学生に対しては、理解することが大事という考えのもと、「項目を減らしても、一つひとつに深い理解が得られるように指導をしています」と中村教授。できごとや結果だけを教えるのではなく、方法論を教えていると言います。「科学は基本の考えは同じですから、一つ理解して方法論を習得すれば、ほかのことも自分どのように勉強すればいいかがわかりますから」。

また、企業がIT投資を縮小しつつある昨今の状況の中、学生たちが就職活動に専念できるような環境づくりにも心がけているそうです。

～中村研究室の思い出～ from OB

■和気あいあいのいい雰囲気でした

研究室では、遺伝子研究の持ち込み画像をプログラムで解析する…なんてことをしていました。一人で研究をしていたのですが、そのおかげでプログラミング技術が向上したと思います。研究は個人個人でしたが、研究室は和気あいあいとした雰囲気でした。先生の性格や、楽しい同期がいたせいもあったのかな…。当時、隣りの内田研と別の科の新宮研と仲がよくて、バスを借り

て大型免許を持つて人の運転で旅行とかにも行ってましたね。(安藤さん)

■熱心な指導が印象に残っています

画像処理工学を勉強したくて、中村研を希望しました。入ったときは、中村教授が「ソフトとハードを理解できないとコンピュータSEとは言えない」と、ソフトからハードの研究に移行した1年目。ハードウェア雑誌を片手に回路

を作成し、誰かが成功したときなど、皆で感動したのを覚えています。レベルが高く、教授の熱心さも有名でした。研究室への配属が決まってすぐ、春休みでもプログラミングの宿題が出されたり…。英会話レッスンや卒研発表前のプレゼン指導など、研究以外でも生徒の勉強意欲に120%応えてくれる教授でした。研究室で海に行ったり、毎年恒例のBBQを行ったりと毎日が充実していましたね。(吉川さん)

産学連携を推進。企業からの相談に応えます!

愛工大では、産官学連携の潮流の中、社会貢献の一環として、研究施設や人材の活用などを通じた、総合支援を行っています。大学の伝統である「ものづくり」や、エネルギー・環境、情報等に関する研究成果を実用化につなげつつ、教育の高度化、学問の深化を推進します。

2名の産学連携コーディネータが、適切な教員を紹介

し、研究相談・技術相談、共同研究・受託研究・受託試験・奨学寄付等の連携に応えていますので、お気軽にご相談ください。

研究相談 技術相談 に関する お問い合わせ先
 愛知工業大学 研究支援本部
 〒470-0392 愛知県豊田市八草町八千草1247
 TEL 0565-48-8121 (内線1400) FAX 0565-48-4640
 e-mail so-ken@aitech.ac.jp

産官と密に連携した研究支援

学内にある4つの研究施設では、産官と連携して最新研究・先端技術の開発が行われています。

総合技術研究所

最新の研究設備を設置し、学術フロントティア推進事業など、大型研究が進行中。視聴覚室(会議室)、研究交流サロン室では、企業技術者教育や公開シンポジウム、討論会なども開催されます。



地域防災研究センター

産学連携を軸として、地域防災力の向上を図る研究拠点として2005年に建てられました。現在、開発したシステムで約70の企業や事業所とインターネットを通じて、緊急地震速報や防災知識等に関する情報を提供しています。



この緊急地震速報システムは、本学でも活用されており、全学生を対象とした防災訓練が年に1度実施されます。本センター建物1階の講義室は、一般市民の防災教育の場として自治会や自主防災会の研修会等にも利用されています。

地域防災研究センターにおける企業防災啓発・教育活動

2007年に地震につよいものづくり地域の会「あいぼう会」を発足。企業における災害時の被害軽減・復旧の迅速化を目的に知識習得・情報共有から会員相互間の災害復旧への協力体制の確立を行っています。会員と大学教員が協力し、月1回、勉強会・見学会・防災ワークショップ・講習会等を開催しています。「あいぼう会」への入会のお申し込みは、下記HPをご覧ください。



URL <http://dprec.aitech.ac.jp/aibou/>

耐震実験センター

我が国最大級の産官学共同利用実験施設として設立されました。住宅や橋梁などの耐震性向上や免震装置の開発など、数々の産学協同研究が進められ、耐震工学・構造工学の技術向上と発展に寄与しています。



エコ電力研究センター

「太陽光や風力などの発電能力の向上」「新しい発電システムの開発」などを研究課題とし、学内に太陽光発電、風力発電などを導入し、自治体や企業と連携して、次世代型エコ発電システムの実現を目指しています。



H22年度実施中の共同研究・受託研究テーマ一覧

学 科	テ マ	
建 築	<ul style="list-style-type: none"> ●国産材を使った新しい木造建築の開発 ●小規模多機能ホーム太田における床下及び室内環境に及ぼす調湿木炭「炭八」の効果 ●産業製品を用いた建物外装材の非鉄金属による乾式構法の構造性能、環境性能の評価・実証 ●住宅等建築材料開発の支援 	電 気 <ul style="list-style-type: none"> ●異種金属接合による製品の軽量化と多機能パワーの構築 ●超音波による非金属系液体中異物検出装置開発 ●窒化物半導体の成長層、界面、プロセス導入欠陥の評価 ●水素イオン注入を用いたマイクロ・ナノ加工と分析評価 ●太陽光発電装置導入住宅におけるエネルギー効率向上と信頼性向上に関する研究 ●低侵襲手術支援システムの実用化開発と臨床研究(超音波による局所ナビゲーター装置開発の工学的研究) ●距離画像センサの開発研究
応用化学	<ul style="list-style-type: none"> ●「発泡樹脂充填材を用いたサンドイッチ構造品の軽量・高剛性化技術の開発」の実用化に関する研究開発 ●ポリウレタンナノコンポジットに関する研究 ●鋼板表面へのセラミックス被膜形成 ●陶器瓦の赤外線反射特性に関する研究 ●誘電体セラミックスの作製と特性評価 ●「環境調和型セラミックス新産業の創出」に係る一部分「環境調和型陶磁器の開発」に係る「環境負荷低減型陶磁器食器の開発」 ●ナノカーボンを用いた耐熱性・放熱性に優れた熱可塑性樹脂の開発 ●ナノフィラー添加による熱可塑性および熱硬化性樹脂の機械的特性向上 	経 営 情 報 <ul style="list-style-type: none"> ●技術伝承およびIT(3次元CAD)教育に活用できる電子黒板を用いたアプリケーション改良型ダイナミックe-learningソフトウェア・コンテンツの開発 ●企業内研修の有効性向上のためのシステムづくり
土 木	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急地震速報の高度活用に関する研究 ●緊急地震速報の配信事業に関する研究 	機 械 <ul style="list-style-type: none"> ●自律回避行動を組み込んだRT7軸ロボットシミュレータの開発 ●探査用小型無人飛行体の研究開発 ●パーソナルモビリティに関する安全性・信頼性に関する研究 ●超音波振動を付加したウォータージェット切削システムの開発
		研 究 所 <ul style="list-style-type: none"> ●強凝集粒子ゾルの分散技術と量子触媒合成装置の開発に関する研究 ●多孔体担持型蓄熱材開発
		防 災 <ul style="list-style-type: none"> ●高精度強震動予測手法の開発

AIT OPEN FORUM

7会場でAITオープンフォーラムが開催され、うち1会場では同時に支部総会を開催しました。

第82回
2010/9/11
京都タワー
ホテル

本学は全国の大学で最初に緊急地震速報を導入しました!

講師：正木 和明 教授
工学部 都市環境学科 土木工学専攻



本学では、地震の発生を大きな揺れが来る前に知らせてくれるシステム「緊急地震速報」を全国の大学に先駆けて平成19年2月から導入し、避難訓練を過去4回実施。学生と教職員が一体となって防災に取り組んでいるとして「緊急地震速報の仕組みと本学における活用状況を紹介し」という提言があり、資料「愛知工業大学緊急地震速報と避難マップ」を交えて、政府・学会の動き、地震発生時の措置、我々がとるべき行動などについて講話がなされました。

第83回
2010/9/18
岐阜グランド
ホテル

岐阜の建築文化にみる遺伝子～3賢人の夢見た空間～

講師：杉野 丞 教授
工学部 建築学科 建築学専攻



「岐阜は山々に囲まれ、中央部を長良川が流れる風光明媚な地にあり、人々は長い歴史の中で豊かな生活を営んできた。戦国時代には天下に名を馳せた武将を輩出し、江戸時代には多くの識者を擁し、明治時代には新たな時代を切り開く知恵と視野をもった賢人を輩出してきた。明治・大正期に岐阜から広い世界を見つめていた、昆虫学者の名和靖、建築家の武田五一、企業家の日下部久太郎の3賢人を取り上げ、彼らが夢見た建築空間とそこに受け継がれている遺伝子を読み解いてみたい」との切り口で興味深い講話がなされました。

第84回
2010/9/25
ホテルブエナ
ビスタ(松本)

司馬遼太郎とものづくり文化

講師：森 豪 教授
基礎教育センター総合教育教室



昨年、開学50周年記念映画「築城せよ!」製作の源泉は、2000年に開講した総合教育科目「ものづくり文化」にあるとして、その開講理由や開講時の時代状況、開講後10年を経て映画製作に至った経緯を紹介。また、1996年以来、講演で司馬遼太郎を取り上げてきた動機の第一は、「技術と人間」が司馬遼太郎の重要なテーマであったという話から、司馬遼太郎の文化・文明論に触れ、「ものづくり文化」の講義で見つめてきたものを司馬遼太郎の考え方と照らし合わせて講話がなされました。

第85回
2010/10/2
四日市都
ホテル

近未来の生活像

講師：建部 謙治 教授
工学部 建築学科 建築学専攻



近い将来、都市空間や住宅は大きく変化することが予測され、未来型の建築とはどういうものなのか、社会生活が直面する諸問題を解決する手段としての生活支援ロボットとの共生がどのようになるのか等を紹介。また、近未来の生活像について、講話がなされました。

第86回
2010/10/17
ホテルクラウン
ハレス浜松

人は死ぬまで発達する～生涯発達と健康～

講師：藤井 勝紀 教授
経営学部 経営学科 スポーツマネジメント専攻



「一生にわたり、自分で動き、いきいきと生活するには、発達し続ける心身を生かすことである。生涯にわたる発育と発達を「生涯発達」と捉え、どのようにしたら健康的な生活を送ることができるのか、科学的に考えてみよう」との提言により講話がなされました。

「静岡県第8回支部総会」同時開催!

瑞若会静岡県支部18人の卒業生と瑞若会本部から、道家秀男会長、山田英介会長代理、他3人の役員が出席。道家会長から大学の現状報告を含めた挨拶、大林猛静岡県支部長の挨拶の後、総会次第に沿って議案が提議され、審議の結果、全て承認されました。支部役員についても選出され、大林支部長のもと、引き続き、支部の運営がなされることとなりました。



第87回
2010/10/23
岡山ロイヤル
ホテル

眼力(メヂカラ)と日常生活

講師：石垣 尚男 教授
経営学部 経営学科 スポーツマネジメント専攻



自ら監修した【見る力を実践で鍛えるDS眼力トレーニング】(任天堂)が2007年6月発売以来、翻訳も含めて世界で300万本になった。東北大学・川島教授の【脳トレ】以降、トレーニングブームに火がつき、多くのトレーニングソフトが出ている。トレーニングブームは、人のもつ様々な能力への気づきを与え、自分の能力の再発見や、能力を鍛えることでより良い生活につなげるというプラスの影響をもたらしていると紹介。1)日常生活と視力、2)日常生活とガンリキ、3)メヂカラとは、4)日常生活とメヂカラ、5)メヂカラのトレーニングとその効果についての解説もなされました。

第88回
2010/10/30
金沢都
ホテル

CSR「環境・食料問題への取り組み」～食べ物「モッタイナイ」をなくそう～

講師：石井 成美 教授
経営学部 経営学科 経営情報システム専攻



CSR(企業の社会的責任)の説明に始まり、事業者、地域社会、市民・消費者の社会貢献サイクルは環境にやさしく経済的効果が期待できるという話がありました。具体的に飲食店などの残飯・廃棄処理量の減(食べ残しゼロ)を目指す取り組み(①ご飯などの小盛り申請②食べきれない食材の申請③食べきれなかった食料の持ち帰りなど)を提案。「食べ物を持ち帰り」「コンパクトに折りたたため携帯性がある」「洗って繰り返し使える」という要件を満たす容器を『ドギーバッグ』と定義し、その普及をサポートしているとの紹介があり、一人ひとりのアクションが日本の食料問題や環境問題につながっていることについて、大変興味深い講話がなされました。

退職教員紹介

2010年(平成22年)3月31日付で退職を迎えた先生方のコメントをご紹介します

大島 貴充 工学部機械学科 教授



約50年前、愛知工業大学に機械工学科が開設された。昭和37年(1962年)4月である。地元中企業の「ものづくり技術者」の育成を目標に、工学実験・工作実習・設計製図に重点を置いた実技教育が実施された。以後、多くの卒業生を社会に送り出し、高い評価を受けてきた。そして、数年前から、定年で第一線からの引退が始まっている。私も平成22年3月31日を以って、愛知工業大学を退職した。いま思えば、私の大学での長い生活のほとんどは、工業立国にひた走る日本の「ものづくり技術者」の育成教育に費やした。

日比野 倫夫 工学部電気学科 教授



平成13年(2001年)4月から工学部電子工学科(現電気学科)に勤務し、今春定年退職しました。この9年間で117名の学生の卒業研究の指導を担当しましたが、問題点の見極め、解決策の検討、解決策の実現において、自分で考えながら進めることの難しさと達成できたときの喜びを卒業生の皆さんは実感されたことと思います。この経験を、仕事に役立ててくださることを願っています。卒業生の皆さんのご活躍と同窓会のご発展を願って筆を擱きます。

堀 康郎 工学部機械学科 教授



平成15年(2003年)に本学に移り、7年間、電子、知能機械の学生の教育を行いました。講義では演習を徹底して行い、学生の理解を深める努力をしました。また、研究室では、実験と計算ができる学生を育てることを目的に指導した結果、全員を社会に送り出すことができました。退職後は技術士の資格を活かして、技術士事務所を開設したところです。大学の皆様には大変お世話になり、有難うございました。愛知工業大学の今後の発展を祈念いたします。

工科展で「瑞若会特別賞」授与

今年初めて、工科展において「瑞若会特別賞」を授与することになりました。工科展の審査、表彰には、飯吉僚副会長が出席し、ソーラーカーレース鈴鹿2010に参加した状況などを発表した「AITEP」に対して賞が贈られました。(関連記事7ページ)



駅伝大会で「瑞若会特別賞」授与

2010年11月9日(火)に恒例の第30回(平成22年度)愛工大駅伝大会が開催されました。今年は「オープン・コースの部」「学科・専攻交流の部」「選手権の部」「大畑小学校の部(特別参加)」の4部門で行われました。上位入賞とは別に右記の3チームには、「瑞若会特別賞」が贈られました。

- オープンコースの部
……………「ホンマでっか!?(」(執行委員会)
- 学科・専攻交流の部
……………「土木A」(都市環境学科)
- 選手権の部……………「自転車同好会」

額 康兵 経営学部経営学科 教授



昭和52年(1977年)に工学部経営工学科(現経営学部経営学科)に奉職し、退職まで33年間、教育・研究、学生相談と、自由な雰囲気の中で大学生活を享受させていただきました。今日まで教職員の皆様のご教示、ご協力をいただき、学生諸君の若いエネルギーを吸収して楽しく勤めることができました事に深謝いたします。どうか瑞若会の皆様も健康に留意され、ご活躍されるよう願っています。最後に道元の「而今」(にこん)という言葉を書いておきます。

岡田 静雄 基礎教育センター 教授



昭和41年度(1966年度)から物理学担当教員として奉職して、44年間物理教育に携わり、任期を終えて退職しました。学生諸君とは、囲碁部、サッカー部、硬式野球部等に顧問教員として世話をさせていただくことを通じて、人間的なお付き合いができました。今年30回を迎える駅伝大会は、運動クラブの連帯と親睦を願って数クラブに働きかけて始めたものが、大学行事として全学生が参加する年中行事になったもので、個人的にも感慨深いものを感じます。瑞若の会員諸君のご活躍を願っております。

児嶋 文寿 基礎教育センター 教授



昭和52年(1977年)に奉職し、33年間教職課程担当教員として教育と研究に従事し、今春70歳に2年早く選択定年制で退職いたしました。在職中は熱心な学生諸君に囲まれて、充実した日々を過ごすことができました。現在の免許教科は、高校の工業、理科、情報、商業ですが、毎年数名の学生が教育の現場に出て行きます。卒業生の皆さんの学校現場でのより一層の活躍を期待しております。なお、退職後、名誉教授の称号をいただきました。

キャンパス見学ツアーを受け入れます



ご希望があれば、このような小グループのツアーを今後とも受け入れますので、事務局までお問い合わせください。

今年は瑞若会主催のキャンパスツアー(関連記事1・2ページ)のほかにも、三重県支部がバスをチャーターして、11月6日(土)に八草と自由ヶ丘のキャンパスを訪れました。

本部の会議		各種行事	
1月		■建築学科同窓会(1/29)	
2月		▲私立大学同窓会連合会拡大事務局長会議(2/26)	
3月	第5回事務局会議開催(3/5) 第5回総務常任委員会開催(3/18)	■関西支部第5回例会(3/20) ■平成21年度 卒業式(3/23)「瑞若賞」贈呈 卒業生に記念品配布(3/23)	
4月		■平成22年度入学式(4/1)新入生に「START-UP」配布	
5月	第1回事務局会議開催(5/6) 第1回総務常任委員会開催(5/7)	■「みずわか」編集委員会開催(5/26) ●瑞若会(同窓会)企業展(5/29) ■新会員のデータ入力(6/2) ■新会員の同窓会費入金処理(6/2) ▲愛知県私立大学同窓会連合会平成22年度理事会・総会(6/25)	
6月	●瑞若会理事会・支部長会議開催(6/19)	■中・四国支部平成22年度春期活動報告会(7/17) ■関西支部「例会」(7/17) ■職場支部「近藤グループ」懇親会(7/23)	
7月	第2回事務局会議開催(7/6) 第2回総務常任委員会開催(7/21)	▲三重AITオープンフォーラム(10/2)(四日市都ホテル) ■愛工大祭開催への援助(10/6~10/10) ■工科展(10/9)「瑞若会(同窓会)特別賞」贈呈 ●八草キャンパス新1号館・自由ヶ丘キャンパス見学会(10/9) ▲私立大学同窓会連合会定例事務局長会議(10/15) ▲静岡AITオープンフォーラム(10/17)(ホテルクラウンパレス浜松) ■静岡県支部総会(10/17)(ホテルクラウンパレス浜松) ▲中・四国AITオープンフォーラム(10/23)(岡山ロイヤルホテル) ▲北陸AITオープンフォーラム(10/30)(金沢都ホテル) ▲三重県支部八草キャンパス新1号館・自由ヶ丘キャンパス見学会(11/6) ■駅伝大会(11/9)「瑞若会(同窓会)特別賞」贈呈 ●「みずわか vol.43」会員へ郵送	
8月			
9月	第3回事務局会議開催(9/21) 第3回総務常任委員会開催(9/30)	▲関西AITオープンフォーラム(9/11)(京都タワーホテル) ▲岐阜AITオープンフォーラム(9/18)(岐阜グラントホテル) ▲長野AITオープンフォーラム(9/25)(ホテルブエナビスタ)	
10月			
11月			
12月			

凡例: ●本部事業 ■学内事業 ■支部事業 ▲その他

人事異動に関するお知らせ

新任教員	工学部	機械学科	准 教 授	江 上 泰 広	
		都市環境学科	講 師	山 本 義 幸	
		建築学科	講 師	瀬 古 繁 喜	
	経営学部	経営学科	教 授	石 井 成 美	58K
		経営学科	准 教 授	竹 中 嘉 久	56K
	情報科学部	情報科学科	教 授	中 條 直 也	
		情報科学科	助 教	松 河 剛 司	
	基礎教育センター	自然科学教室	教 授	森 昌 弘	
		自然科学教室	助 教	一 刀 祐 一	
		総合教育教室	教 授	長 谷 川 省 一	
	総合教育教室	准 教 授	北 村 陽 子		
	総合教育教室	助 教	坂 本 將 暢		
人事異動 (卒業生関係)	新規採用	電気学科	技 術 職 員	前 田 正 輝	47E
		都市環境学科	技 術 職 員	伊 庭 恒 夫	48D
		財務課	事 務 職 員	柳 瀬 浩 史	H22TT
		戦略的大学連携室	コーディネータ	木 村 義 人	40E
	昇 任	愛知工業大学名電高等学校	教 頭	平 田 俊 之	50E
		電気学科	准 教 授	岩 田 博 之	62R
		管理部	部 長	矢 野 敬 典	50K
		システム管理部	次 長	山 本 久 雄	50R
		システム管理部	次 長	近 藤 修 司	50R
		入試課	主 査	横 井 浩 治	H5K
		キャリアセンター	主 査	奥 田 好 弘	62K
		渉外課	係 長	西 田 裕 之	H11K
		教務課	係 長	山 田 真 吾	H11D
		人事課	事 務 主 任	前 田 賢	H13E
	退職教員 H22年 3月31日付	電気学科	教 授	日 比 野 倫 夫	
機械学科		教 授	大 島 貴 充	40M	
機械学科		教 授	堀 康 郎		
経営学部		教 授	額 康 兵		
情報科学科		教 授	石 井 直 宏		
	基礎教育センター	教 授	岡 田 静 雄		
	基礎教育センター	教 授	児 嶋 文 寿		

平成21年度 決算書(収支計算書)				
経常経費(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)				
■収入の部				
科 目	予算額	決算額	差 額	備 考
入会金(基本金)	4,400,000	4,536,000	136,000	1,019人+115人
終身会費	22,000,000	22,780,000	780,000	1,019人+120人
年会費	0	10,000	10,000	
受取利息	700,000	706,817	6,817	
雑収入	0	73,000	73,000	
当期収入合計①	27,100,000	28,105,817	1,005,817	
前期繰越金②	70,625,981	70,625,981	0	
収入の部合計 ①+②	97,725,981	98,731,798	1,005,817	
■支出の部				
科 目	予算額	決算額	差 額	備 考
学科・支部援助費	6,000,000	4,057,936	△1,942,064	映画チケット
名簿管理・IT関連費	1,500,000	1,462,608	△37,392	
会報発行費	7,000,000	7,150,229	150,229	
大学祭援助費	600,000	600,000	0	
卒業記念品費	2,500,000	2,345,200	△154,800	
準会員支援費	950,000	555,000	△395,000	
〔小計〕	18,550,000	16,170,973	△2,379,027	
人件費	2,000,000	1,034,770	△965,230	
消耗品費	600,000	610,008	10,008	
会議費	1,500,000	328,476	△1,171,524	
慶弔費	100,000	105,938	5,938	
私大同窓会連合会	150,000	92,000	△58,000	
雑費・手数料	150,000	162,930	12,930	
〔小計〕	4,500,000	2,334,122	△2,165,878	
予備費	400,000	0	△400,000	
基本積立金へ	4,400,000	4,536,000	136,000	入会金
大学への寄付金	20,000,000	20,000,000	0	開学50周年
当期支出合計③	47,850,000	43,041,095	△4,808,905	
当期収支差額④(①-③)	△20,750,000	△14,935,278	5,814,722	
50周年準備費へ⑤	3,000,000	3,000,000	0	
次期繰越金⑥(②+④-⑤)	46,875,981	52,690,703	5,814,722	
支出の部合計 ③+⑤+⑥	97,725,981	98,731,798	1,005,817	

基本積立金【案】(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)				
■収入の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
経常経費から繰入	4,400,000	4,536,000	136,000	入会金
前期繰越金	183,508,087	183,508,087	0	
収入の部合計	187,908,087	188,044,087	136,000	
■支出の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
次期繰越金	187,908,087	188,044,087	136,000	
支出の部合計	187,908,087	188,044,087	136,000	

50周年準備費【案】(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)				
■収入の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
定期総会・懇親会参加費	2,100,000	1,890,000	△210,000	
経常経費から繰入	3,000,000	3,000,000	0	
前期繰越金	19,156,440	19,156,440	0	
収入の部合計	24,256,440	24,046,440	△210,000	
■支出の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
案内状郵送料	3,000,000	2,678,430	△321,570	
定期総会・懇親会開催費用	4,000,000	3,252,684	△747,316	懇親会280名出席
次期繰越金	17,256,440	18,115,326	858,886	
支出の部合計	24,256,440	24,046,440	△210,000	

次期繰越額				
内訳明細	金額			
基本積立金	188,044,087			
経常経費	52,690,703			
50周年準備金	18,115,326			
合 計	258,850,116			

会員計報			
電気学科卒	加藤 正規 59E	建築学科卒	勝 亦 誠 47A
電子工学科卒	日比野 典正 54R	建築学科卒	宮 地 学 59A
応用化学科卒	日比野 隆 58C	建築工学科卒	田 中 徹 56B
土木工学科卒	渡辺 克也 50D		

教職員計報	
	謹んで哀悼の意を表します 基礎教育センター総合教育教室 佐藤順彦教授 2009年12月24日